

拝復 秋冷の候とりました。
いかにお返しですか。おうかいをします。

さて、先日は、

玉稿抽印本の惠送にあずかり、厚くお礼を申あげます。

また、馮蒸氏への抜刷贈呈の件も、指主さまにまわして
ありかとうごさいます。韻學大成に關するものも、どう
していただくか、まずその関係と二点。平山輝男先生の記念
論集のものは、抜刷してもらえなかったもので、このようなコピーを
作す、方教の方にさしあげました。貴兄にもコピーを
どうして、了承してもらって下さい。それから、「五音聲論」
も残っていますので、加えました。(別便で送りませう)

有坂博士と宣揚。とは、私のついでにもありますので、有
効であるかどうかは別として、送るついでに、四点上述べました。
有坂博士について私が書いたものは、大きくて、人々と「字問」
に分れます。「人」については、中国人にとその関心があるかもしれ
ませぬので、「字問」だけとしました。具体的に記しますと、

有坂秀世「山東系の二方音について」のめぐり
有坂秀世「音韻論」(「音聲の研究」(身は輯)の成立
に關する卑見)

有坂秀世博士の卒業論文について

有坂理論の展開「音韻變化について(成あり)」

以上四点です。なお、人文学報本は早くにお手もとに
といたと思いますが、抜刷は貴兄が本国される前にまにあ
いませぬので、おそまきながら、貴兄分も同封します。

お手教を付けて申しわけありませんが、玉稿抜刷七点、直書
なことはおそえて、馮蒸氏へお渡し下さるよう願ひを
します。

また、

文研授書の件は、その後、岡崎氏に今さらと「可能性」
かあるは、是非ともお願ひして素直(趣意)といわれて、
聞きませう。たか、その方では、いま北京に手紙が来てあるので、
貴兄からの返事があつた上で考え、と答えておきました。
稲畑氏との相談の結果に決めます。

もう二、三日したら、中国語学会にちかけねばなりません。今
年は、理事会、総会のことでも気が重たい状態です。

帰って来て、金田一賞の授賞式があり、受賞者の
森博達氏の来賓として出席しなりましたので、学会
の報告も兼ねて手紙と、どうしては、ずいぶん先のと
にやるでしょう。お発前に、この手紙と抜刷の別便とをまず
にしました。後になりませんが、同封されては佐藤氏への
貴簡は手渡ししました。

それでは、皆様お元氣にお過ごし下さい。

敬具

十一月三日

慶谷素信

古屋昭弘 様

2.

1.

拝啓 まもなく入梅と報じられて、ますますかゝか
 おまじしですか。おうかか申しあげます。私は、三月末に
 長崎外大を退職して、旧居にもどりまゐりました。その後、トト
 ハナのかせを引きまゐりました。あるは花粉の影響も、だつたのかも
 しれません。それも連休の間に一段落しました。たが、その後
 は生活が大きく変わりまして、また適応できず、体調も思わ
 しくありません。

一度、都心にちかけておめにかかろうとも思ひまゐりましたが、
 お忙しい毎日でしょうし、手紙にしまゐりました。私は、今度誕生
 日を迎えれば、満七十七歳になります。それで、目下、一番気
 にかかっているのは身辺整理です。

長崎に持て行った図書は、約半分に持ち帰つたつもり
 なのですが、それもまだ片づけるところまでにはいっていません。
 実は図書の置き場に困ると思つて、集合住宅のLDK
 を一戸購入しましたが、それも役立ててはけません。七十歳
 の年齢では、これだけの整理をしなければなりませんので、
 減らして、さうと思ひます。また買ったものはあまり多く、

零碎なものが多いので、ますますまとまったものとしては、『吉川幸
 次郎全集(二十四冊)』、『中国古典文学体系(平凡社、
 六十冊)』、『くわい(よう)か』。

学生諸氏の中に、『吉川幸次郎全集』をよめよう
 人があります。どうか、価格は格安で送料(宅急便代)程
 度でかまいません。

そのほかの中国関係の書は、古書店に売却してしまおう

2.

かと思ひます。鶴本書店からは、ずいぶん目録を送るもろそ
 けでしたが、直接のとりひきはなかったと思ひます。長崎外大を
 去るに当り、今後は目録も必要ありません。さういふかきまわ
 して、現在、手もとに目録も残していませんので、住所電
 話番号もわかりません。もし、書店をもちかかて
 いるかも知れません。

もし、鶴本書店と親しい文房があれば、私が図書を処分
 したと思ひます。さういふことで、紹介下さる、まゐりて、さうい
 うか。いきなりこのようなお願ひで申しわけありませんが、一番気
 にかかっている心配して、さういふこととさういふことで、寛恕下さ
 い。先のことと考へると、悠悠自適とはいはず、なにもできません。
 苦しいもの多々です。

多忙中とは存じますが、一助を賜わることができたら、
 幸いと存じます。
 右、ますは筆し、願ひまゐり。
 健勝を祈念しつゝ。

六月八日

敬具

慶谷 畜信

古屋 昭弘 様